

交通事故概況等について

道環境生活部くらし安全推進課

平成22年12月9日

◎ 交通死亡事故発生状況（概数）

1 (総合)振興局別交通死亡事故発生状況

○ 平成22年中の発生状況（12月8日現在）

区分	空知	石狩	後志	胆振	日高	渡島	檜山	上川	留萌	宗谷	オホーツク	十勝	釧路	根室	全道計
死者数	20	49	16	11	3	13	0	21	2	5	22	25	9	4	200
前年比	-7	+8	+6	-10	-8	±0	-5	+8	-3	+2	+8	+4	-1	+1	+3

2 月別死者数

年 / 月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	11月末	12月	言十
平成22年	10	16	18	10	12	15	21	25	20	22	24	193	(7)	200
平成21年	12	7	11	16	15	14	28	22	22	27	22	190	22	218
平成20年	11	11	10	14	15	27	21	24	22	21	25	201	27	228

12/8 現在

3 主要都道府県の交通事故死者数

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
平成22年 (12/8) 現在	北海道 200 (+3)	東京 192 (-3)	茨城 188 (+2)	愛知 178 (-26)	埼玉 177 (-11)	大阪 177 (-16)	兵庫 172 (+11)	千葉 168 (-9)	神奈川 162 (+4)	静岡 156 (-9)

※ H21.12.8現在～北海道197人（全国ワースト2位～全国ワーストワンの愛知県204人との差7人）

4 交通事故死全国ワーストワンに伴う過去の緊急メッセージの発表状況

年度	発表日	発表内容	発表者	発表理由	北海道	関連都府県	最終順位
16	6月7日	交通死亡事故多発非常事態 緊急メッセージ	知事 道警本部長	6月5日 全国ワーストワン到達	141人 (+23)	千葉県 141人	1位
19	8月15日	交通死亡事故多発非常事態 緊急メッセージ	知事 道警本部長	8月14日 全国ワーストワン到達	160人 (+16)	大阪府 158人	2位
22	11月4日	交通死亡事故多発非常事態 緊急メッセージ	知事 道警本部長	11月3日 全国ワーストワン到達	172人 (-4)	東京都 172人	

道民の皆さんへ

交通死亡事故の抑止に向けた行動を！

本道における交通事故による死者数は、十二月三日現在で一九五人となっており、十一月三日に約三年ぶりの全国ワーストワンとなって以来、その回避には至っておらず、極めて憂慮すべき事態となっています。

この間、「交通死亡事故多発非常事態」の宣言のもと、一か月間の緊急対策期間を設定し、道警察をはじめ、市町村、関係機関・団体、そして多くの関係者の方々と連携して、幹線道路での旗の波作戦やパトライト作戦などの街頭啓発活動や、交通安全車による巡回広報、さらには、各種の広報活動等に全道をあげて取り組んできたところです。

しかし、残念ながら、依然として全国ワーストワンの状況が続いていることから、緊急対策期間をさらに年末まで延長して、交通事故防止対策を一層強化することといたしました。

これまで五年間続いてきた「全国ワーストワンの回避」を、今年も引き続き達成することは、全ての道民の切なる願いでもあります。

年末までの残された期間、交通事故による犠牲者をこれ以上増やさないためにも、皆さん一人ひとりが交通安全に対する意識を強くもち、交通ルールを守り、正しいマナーを実践することが何よりも大切です。

どうか、六年連続の全国ワーストワン回避の実現のため、次の事項に留意され、家庭や地域、学校、そして職場などで、交通事故防止の気運を大きく盛り上げていただきますよう、皆様の御協力をお願い申し上げます。

★運転者及び同乗者

- スピードダウンの励行と、すべての座席でのシートベルトの着用
 - 交差点での安全確認の徹底
 - うっかり、ぼんやり、居眠り等による運転の防止
 - 天候や路面状態に応じた安全運転
 - デイ・ライト(昼間点灯)の実践(夕暮れ時の早め点灯を含む)
- ### ★歩行者、自転車利用者
- 横断歩道の利用と、左右の安全確認の徹底
 - 夜間での明るい色の衣服の着用と、夜光反射材の装着
 - 自転車乗車時の左右の安全確認の徹底と、夜間のライト点灯

平成二十二年十二月四日